



人に見えない妖怪ならナニしても合法!?!7

すれも

天狐の因子を封印するためコダマと協力し
ツクモガミで奮闘するも失敗した猫又。
ついに策も尽き途方に暮れていた――



コダマに啖呵を切ったものの、
あれ以上のツクモガミの
アテなんてないわ……



うーイライラする！

こんなところで
立ち止まってる場合
じゃないのに！



今日は休日、暇な日は
妖怪を探すのが俺の楽しみだ



そうはいつでも妖怪を見つける
のは困難で見つけられず
帰るのがいつものオチだ

ちよい休憩







なんとか逃げきれた
しばらくこの路地裏で
休憩するか……

にしても
猫又のヤツいつもと
様子が違ったな



今までは何とか見逃されてきたが
今度こそ殺られ

ポ
ト
ン



こんなんじや
何の気晴らしにもならないわ

遅すぎる



ムクッ♡



だめだ……俺は今日死ぬ……

クキッ……



ムクッ……♡

こんなときにも
俺は……っ

……あんた、自分の立場
分かった上で興奮してるの？

人間って皆こうなのかしら？
本当に——

気持が悪い!!

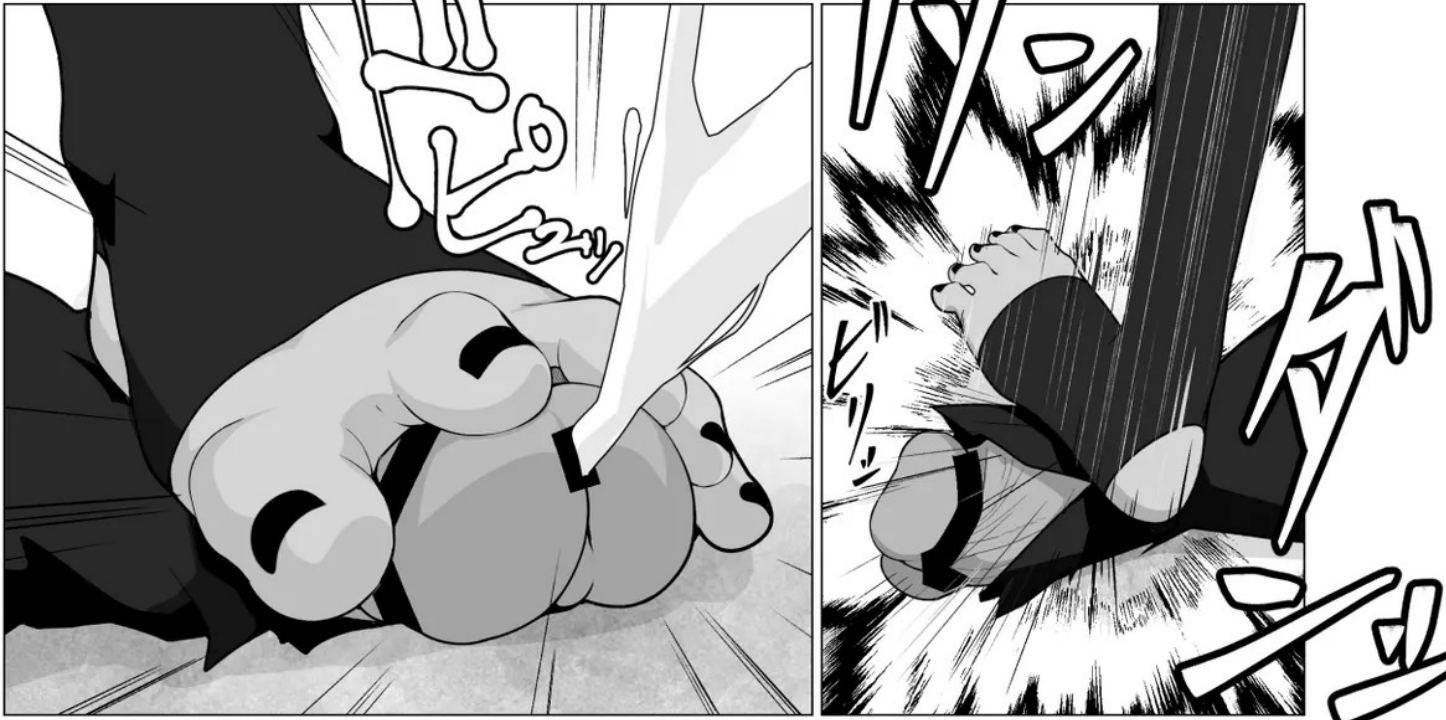
グッ

ッ!!

頑丈になつているとはいえ痛覚は
変わらないチンコをコンクリに
強烈に踏みつけられる痛みは
文字通り拷問である

すごい♥
こんなトコまで頑丈に
なってるの笑えるわ♥





キモ臭い♡
ホント動物って不潔♡

今のが気持ち良かったの？
本当に人間って変態だわ♡

もちろん快樂ではない
痛覚の閾値を超えて
チンコがおかしくなったのだ



うぐうつ……



これだけ丈夫なら
予想以上に
楽しめそうだよ

レレッ

こいつはドSと見せかけた
ドMと置いていたが違う

...

悪魔だ

すごいすごい！

象がとつくに気絶してるくらい
殴っても壊れないわ！

あの時は好きにして
もらったけど今回は逆ね♥

どう？人の子と同じような娘に
足蹴にされる気分は♥

ハア

ハア





あら？
なんだか柔らかかくて
不思議な感触だわ

こんな玉が人間についてる
なんて気にしたことなかったわ

おず...



ホントちんちんいじめると
情けない声だすわね♪



えい♡







あんな、死にたくないわよね



♡♡♡♡♡



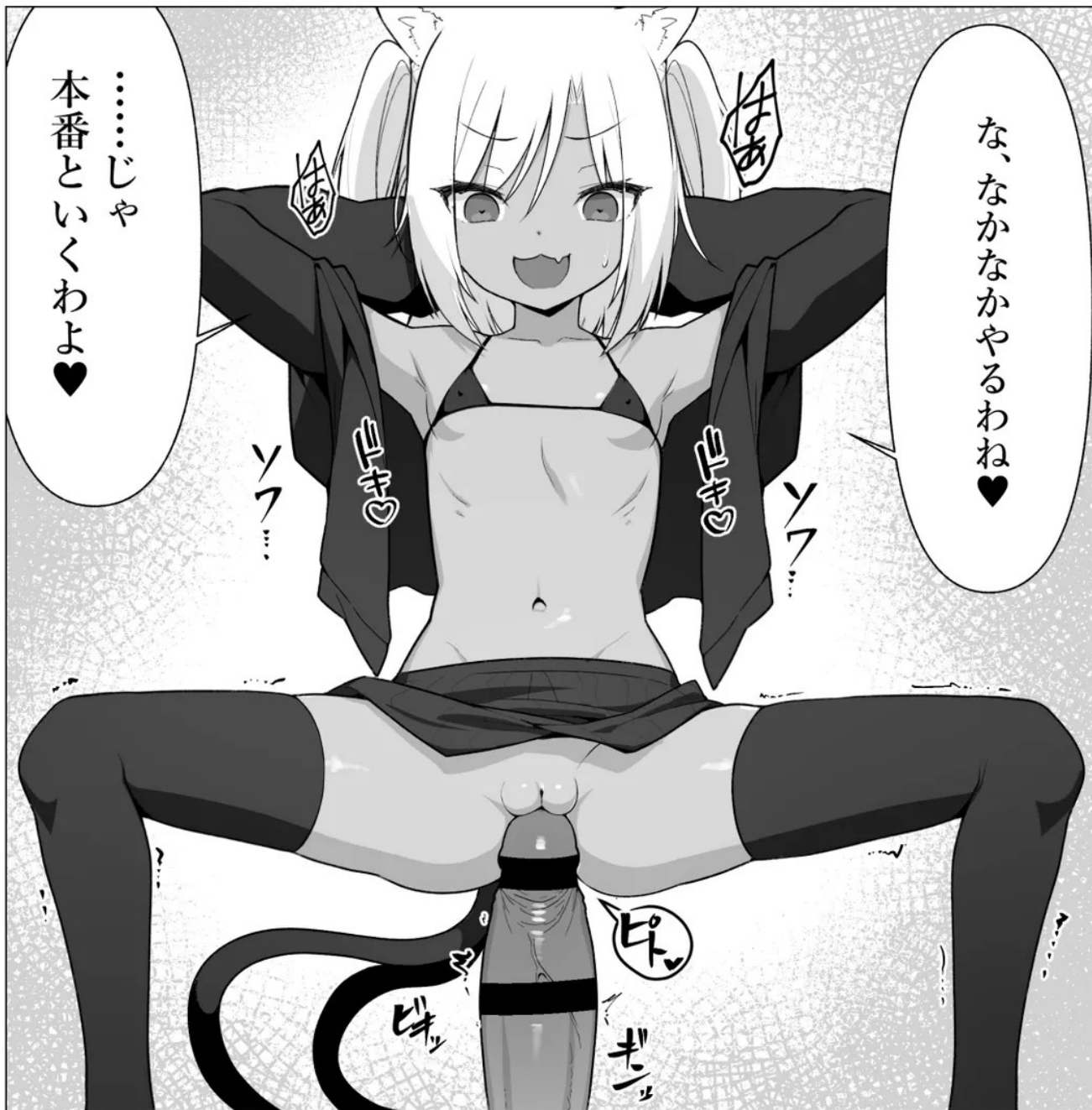
キョッ

ヒッ

ズッ

ズッ

なら私を気持ちよくして
楽しませなさい♡





ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

キッ

ズン
ズン



久々ののに
いきなりすぎ…っ



さんざん好き勝手
サンドバッグにしゃがって…

こっちは褐色ガキ挑発ボディ
ずっと見せつけられて

限界だっ!!

ハッ!

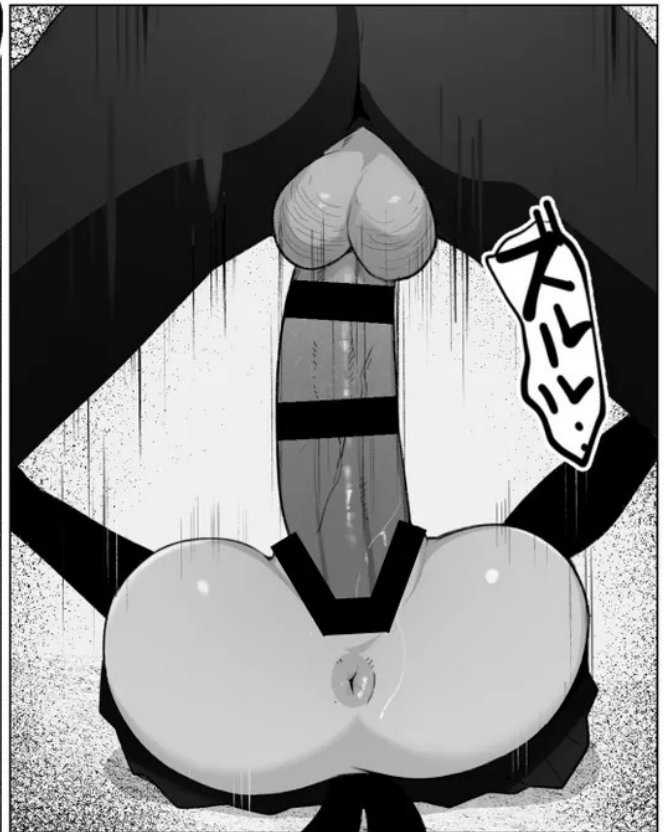
猫又はたかをくくっていた——
尻尾を握られなければ余裕であると

——しかし

体は強靱でもマンコだけは未鍛錬の
見た目通り未発達敏感ぶにぶに
「ザコガキミニホール」だった……







!!



おまたも

乳首も

限界!!

ハクハク♡

ハクハク♡

ハクハク♡

ハクハク♡

ハクハク♡

ハクハク♡

ハクハク♡

ハクハク♡





三百年前 江戸時代

姿は見えないものの
人間にも認知され
恐れられる存在であった

今日は物凄い嵐じゃな

鬼の子...?
おい、しっかりせえ

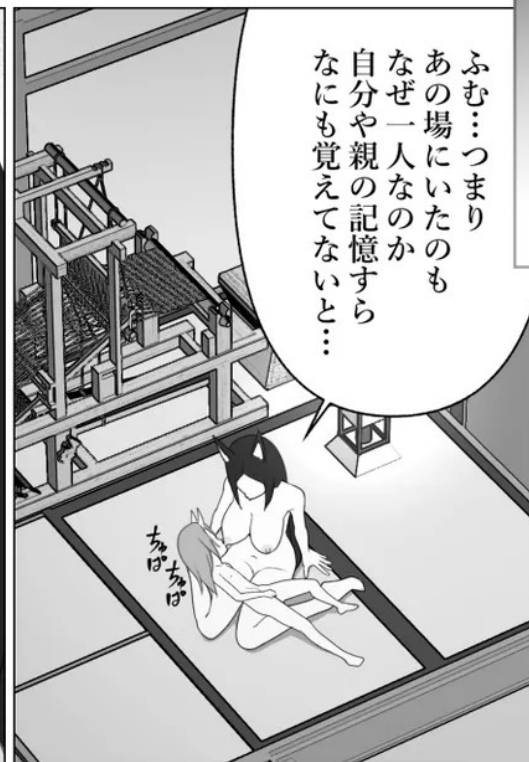
?...あれは...

ここでは死んでしまふ、
ひとまず家に参れ

※乳首から妖力を吸い出せるので乳児や衰弱し地脈から力を上手く取り込めない時にこのように力を分け合う事がある



なにか大事がお主の身に
あったのやもしれぬな…



ふむ…つまり
あの場にいたのも
なぜ一人なのか
自分や親の記憶すら
なにも覚えてないと…



行くあてがないのなら、
記憶が戻るまでしばらくワシと住むか？

なあに、千年も生きてると
童の世話など何匹も世話して
きたからな遠慮することはないぞ



そうか……



ホホっ♪
決まり…じゃな

そして時は経ち…

玉藻様！

ドタドタ

玉藻様
みてください！

妖力玉をこんな大きく
出せるようになりました！

バチ

バチッ

ふわ

ふわ

凄まじい出力じゃ…
本当に夜叉は天才だのう、
仮で夜叉に類したが
実は大妖怪なのかもしれんの

それにしても、
すぐお腹が
大きくなりましたね

ホホッ♪
そろそろ
産まれるな

へへ、玉藻様の
教えのおかげです！

楽しみだな

はやく会いたいな

ㄨㄨㄨ

※妖怪には個々につける固有名詞は存在せず種族名で呼び合う

さらに時は経ち…



妖狐産まれてから育児に励む
玉藻は夜叉の相手は
二の次になっていた



やしゃねえ♪



やっぱり、実子じゃない
からなのかな……



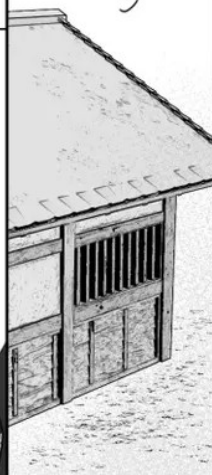
お前はいいな
お母様がいて

ねえのおかーしゃま
どこにいったの？



妖狐、一匹で外に出ると危険だぞ





夜叉の妖気察知範囲は
玉藻の前すら凌駕していた
故に妖狐の搜索は適任であった



どこにいったのだ、妖狐

しかしこのまま見つからなければ
また玉藻様を独り占めに…



いや、なにをわちは…!!

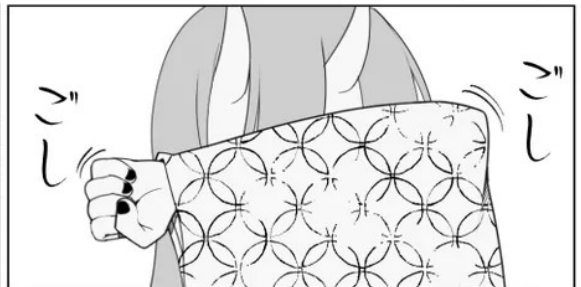




本当の童は
わちじゃないか



わちの大事な
妖狐を離せ!



その野良猫

あしがき

どうも、すれもです！今回も期間が開き気味でしたが、なんとか完成できました。猫又も2回目で今回はかなり暴走してM男向け要素がつよくなっていますがいかがでしょうか？

過去編も突入して物語も締めに向かい始めてます。

過去編は前後編の予定だったのですが、3話分になるかもしれない、というか永遠に過去編やってもいいですよね悲しいんだし。

それはともかく10話完結の予定だったのに過去編が3回になると11話になってしまいますよねなかなか予定通りに進めるのは難しいということで次回作もお楽しみに！

すれも